



3月の主な行事

1日	： マーチの日	14日	： ホワイトデー
3日	： ひなまつり、耳の日	17日	： 彼岸の入り
5日	： 啓蟄	20日	： 春分の日
7日	： 消防記念日、警察制度改正記念日	23日	： 世界気象デー
8日	： 国際婦人デー、ミツバチの日	25日	： 電気記念日



今月のかわら版： 1 「喜ばれるお饀別とは」

春は、入学・就職など出会いの季節。しかし卒業・転職・退職と悲しい別れの季節でもあります。お別れの際、お世話になった方へ贈るお饀別について紹介します。

<お饀別とは、どんな時に贈るもの？>

お饀別とは、「転任する人や遠くへ旅立つ人などに、別れのしるしに金品を贈ること。また、その金品。」という意味があります。



転居や転職する方へ、今までのお付き合いに感謝して贈る場合や、旅行へ行かれる方へ贈る場合が一般的です。しかし旅行程度でお饀別をすることは、めったにありませんが、修学旅行や短期海外留学など何か目的があって旅行する場合に限って贈ることが多いでしょう。また定年退職の場合もその部署全員でまとめて何か贈る場合もあります。

<喜ばれるお饀別はどんなもの？>

■ 親しい方が転居・転職する場合
転居だと新しい環境で役立つものをポイントにして、家庭用品などたくさんあっても困らない実用品など。転職なら身のまわり品や事務用品などいかがでしょうか。

■ 転勤や海外勤務の場合
職場全体で相手に負担をかけない程度に現金を包むのが一般的。気のぎいた装身具やビジネス用のステーションナリー、商品券でもよいでしょうね。

■ 定年退職の場合
同じ部署内全員でお金を出し合って何か贈るのが一般的。趣味のものや思い出に残るものを贈ってあげるのがベストですが、迷った時は現金でもかまいません。

■ 修学旅行や海外留学の場合
修学旅行には、お小遣いの足しに現金でしょう。海外留学なら現地で役立つ物や携帯に便利な品。また現地でお世話になる方へのおみやげなどいかがでしょう。

今月のかわら版： 2 「スマートハウスが増えてます」

次世代のエコ住宅といわれている「スマートハウス」が急速に普及しています。東日本大震災以降、節電や省エネに対する関心が高まっていることも一因かもしれません。消費税増税前、住宅の購入を予定されている方もいらっしゃると思いますが、「スマートハウス」について考えてみてはいかがでしょうか。

<スマートハウスとは？>

スマートハウスとは、IT（情報技術）を使って家庭内のエネルギー消費が最適に制御された住宅のことです。具体的には、太陽光発電システムや蓄電池などのエネルギー機器、家電、住宅機器などをコントロールし、エネルギーマネジメントを行うことで、CO2排出の削減を実現する省エネ住宅のことを指します。省エネ・創エネ設備を備えた住宅がエコ住宅であるのに対し、エネルギーマネジメントシステムで最適化されたエコ住宅がスマートハウス（=賢い住宅）と言えます。ハウスメーカーは、住宅のライフサイクル全体でのCO2排出をマイナスとする「ライフサイクルカーボンマイナス住宅（LCCM住宅）」の実現に向けて、「スマートハウス」の開発に注力しています。消費者にとって「スマートハウス」は、エコであるとともに、光熱費を削減できる経済性も魅力です。

政府の支援策により住宅用太陽光発電システムの普及も進み、電気自動車（EV）やプラグインハイブリッド車（PHV）も続々と発売されています。太陽光発電や燃料電池などで発電したエネルギーと、EVなどへ充電するエネルギーなど、住宅内のエネルギーを効率的に使っていくために、今後、「スマートハウス」は不可欠なものとなってくると考えられます。

<節約効果>

太陽光発電による「創エネ」、各種の省エネ家電の導入、そして、これらの機器をつなげて、無駄なく効率的に電気を使うためにエネルギーの使用状況をモニターすることができるHEMS（家庭用エネルギー管理システム）などを搭載したものがスマートハウスです。パソコンやモバイル機器を使って我が家のエネルギー状況を「見える化」することは、節約意識を高める効果があるといわれています。

今後、家庭用蓄電池や電気自動車を蓄電池代わりにした給電システムとの連携が進めば、夜間に蓄電して日中に使うことで昼間のピークカットをしたり、非常時のバックアップ電源に使ったり、ますますエネルギーの効率的な利用ができるようになるでしょう。